

事務事業マネージメントシート

作成日 平成27年 07月 24日

事務事業名	建築確認申請受付事業				担当	建設部 建設課 建築係						
政策名	D	自然と潤いがある安全快適なまちづくり				電話番号	83-8150					
施策名	7	良好な住まいの供給と促進				<input type="checkbox"/>	実施計画上の主要事業					
基本事業名						事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ					
法令根拠	建築基準法・栃木県知事の権限に属する事務の処理の特例に関する条例						<input type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 昭和29年度~)					
予算科目	1.一般会計	8.土木費	1土木管理費	1土木総務費			<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(年度~ 年度)					
事業概要	建築基準法等に基づく確認・許可・承認等の申請経由事務 建築確認申請に対する調査の作成及び進達事務。 建築確認申請等において、都市計画区域、用途地域、建ぺい率等16項目について調査を作成する。											

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

①手段(主な活動) 26年度実績 申請された建築確認申請等を受付し、必要書類を作成し真岡土木事務所建築主事へ進達する	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)の推移																																										
27年度計画 26年度と同じ	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th><th>単位</th><th>23年度(実績)</th><th>24年度(実績)</th><th>25年度(実績)</th><th>26年度(実績)</th><th>27年度(見込)</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア: 建築確認申請受付件数</td><td>件</td><td>221</td><td>141</td><td>143</td><td>158</td><td>150</td></tr> <tr> <td>イ: その他受付件数(用途変更、位置指定等)</td><td>件</td><td>20</td><td>22</td><td>17</td><td>5</td><td>10</td></tr> <tr> <td>ウ:</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>エ:</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>オ:</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>	名称	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	ア: 建築確認申請受付件数	件	221	141	143	158	150	イ: その他受付件数(用途変更、位置指定等)	件	20	22	17	5	10	ウ:							エ:							オ:						
名称	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)																																					
ア: 建築確認申請受付件数	件	221	141	143	158	150																																					
イ: その他受付件数(用途変更、位置指定等)	件	20	22	17	5	10																																					
ウ:																																											
エ:																																											
オ:																																											
②対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 建築確認申請等の申請者(住宅等を建築する市民)	⑥対象指標(対象の大きさを表す指標)の推移																																										
用途地域等の情報を正確に建築主事(真岡土木事務所)に伝達する	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th><th>単位</th><th>23年度(実績)</th><th>24年度(実績)</th><th>25年度(実績)</th><th>26年度(実績)</th><th>27年度(見込)</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア: 建築確認申請等受付件数</td><td>件</td><td>241</td><td>163</td><td>160</td><td>163</td><td>160</td></tr> <tr> <td>イ:</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>ウ:</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>エ:</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>オ:</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>	名称	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	ア: 建築確認申請等受付件数	件	241	163	160	163	160	イ:							ウ:							エ:							オ:						
名称	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)																																					
ア: 建築確認申請等受付件数	件	241	163	160	163	160																																					
イ:																																											
ウ:																																											
エ:																																											
オ:																																											
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 用途地域等の情報を正確に建築主事(真岡土木事務所)に伝達する	⑦成果指標(対象における意図された対象の程度)の推移																																										
適切な建築指導を行うことにより安全快適なまちづくりに貢献する	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th><th>単位</th><th>23年度(実績)</th><th>24年度(実績)</th><th>25年度(実績)</th><th>26年度(実績)</th><th>27年度(見込)</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア: 建築確認申請件数(指定検査機関分を含む)</td><td>件</td><td>558</td><td>609</td><td>768</td><td>674</td><td>700</td></tr> <tr> <td>イ:</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>ウ:</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>エ:</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>オ:</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>	名称	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	ア: 建築確認申請件数(指定検査機関分を含む)	件	558	609	768	674	700	イ:							ウ:							エ:							オ:						
名称	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)																																					
ア: 建築確認申請件数(指定検査機関分を含む)	件	558	609	768	674	700																																					
イ:																																											
ウ:																																											
エ:																																											
オ:																																											
④結果(どんな結果(上位施策)に結びつけるのか) 適切な建築指導を行うことにより安全快適なまちづくりに貢献する	⑧上位成果指標(結果の達成度を表す指標)の推移																																										
(2) 総事業費の推移	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th><th>単位</th><th>23年度(実績)</th><th>24年度(実績)</th><th>25年度(実績)</th><th>26年度(実績)</th><th>27年度(見込)</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア: 自然災害からの安全性が良いと回答した人の割合</td><td>%</td><td>71.3</td><td>67.9</td><td>71.7</td><td>75.8</td><td>77.0</td></tr> <tr> <td>イ: 火災類焼からの安全性が良いと回答した人の割合</td><td>%</td><td>69.7</td><td>66.1</td><td>66.1</td><td>70.0</td><td>71.0</td></tr> <tr> <td>ウ:</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>エ:</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>オ:</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>	名称	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	ア: 自然災害からの安全性が良いと回答した人の割合	%	71.3	67.9	71.7	75.8	77.0	イ: 火災類焼からの安全性が良いと回答した人の割合	%	69.7	66.1	66.1	70.0	71.0	ウ:							エ:							オ:						
名称	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)																																					
ア: 自然災害からの安全性が良いと回答した人の割合	%	71.3	67.9	71.7	75.8	77.0																																					
イ: 火災類焼からの安全性が良いと回答した人の割合	%	69.7	66.1	66.1	70.0	71.0																																					
ウ:																																											
エ:																																											
オ:																																											
(3) 事務事業の環境変化・市民意見等																																											
①この事務事業を開始したきっかけは何か? いつごろどんな経緯で開始されたのか?	栃木県から依頼を受けた建築確認申請等の受付窓口事務として、本市の建築行政の一環として始められた。平成12年に地方自治法の改正により栃木県知事の権限に属する事務の処理の特例に関する条例に基づき、栃木県からの委託事務として現在に至っている。																																										
②事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	民間の指定確認検査機関による建築確認検査制度が導入されたこと等により、受付件数は減少傾向にある。 平成23年度から狭い道路整備指導事業が始まり、確認申請書受付時に該当者に指導を行っている。																																										
③この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	栃木県から特定行政庁(建築主事)の設置についての要望を受けている。																																										

2. 1次評価の部 *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は、市の政策体系に結びつくか? ・意図することが結果（上位施策）に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 市民が安全で安心して生活できる環境づくりの政策に結びつく。
	②公共関与の妥当性 ・なぜこの事務事業を市が行わなければならないのか? ・税金を投入して達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 栃木県知事の権限に属する事務の処理の特例に関する条例に基づき実施している。
	③対象と意図の妥当性 ・対象を限定・追加すべきか? ・意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある 法による建築物の建築等に関する申請についての、調査・進達事務である。
有効性評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるか? ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか? ・何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input type="checkbox"/> 向上余地はない <input type="checkbox"/> 向上余地がある 必要書類の確認及び建築確認申請等調書を作成するための作業のみである。
	⑤廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 栃木県知事の権限に属する事務の処理の特例に関する条例に基づく事務であるので、廃止は困難である。
	⑥類似事業との統合や連携の可能性 ・他に、類似の形態の事務事業はないか?	<input type="checkbox"/> 類似事業がある（類似の事務事業名を記載） <input type="checkbox"/> 類似事業はない
	・類似事業がある場合、その事業と統合したり連携を図ることができるか?	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携ができる <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携できない
効率性評価	⑦事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 確認調書作成の手数料のみである。
	⑧人件費（延べ業務時間）の削減余地 ・やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? ・成果を下げずにより正社員以外の職員や委託でできないか (アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 最小限の人員で対応している。
公平性評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか? ・受益者負担が公正・公平になっているか?	<input type="checkbox"/> 公正・公平である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 必要な建築指導のための調書作成事務である。

3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性（改革案・実行計画） <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し (<input type="checkbox"/> :目的妥当性 <input type="checkbox"/> :有効性 <input type="checkbox"/> :効率性 <input type="checkbox"/> :公平性) <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 継続	(3) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 改革、改善を実現する上で克服すべき課題は何か？それをどう克服していくか？																								

4. 事務事業の2次評価結果（事業の総括と事業の方向性）

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 <input type="checkbox"/> 記述説明不足（説明責任不充分） <input type="checkbox"/> 評価内容が客観性を欠く <input type="checkbox"/> 評価内容は客観的と言える	(5) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 2次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
(3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）																								
(4) その他2次評価会議で指摘された事項																								